技術士２次試験に合格して

岩瀬　聡
（いわせ　さとる）

勤務先
学校法人常松学園札幌工科専門学校
造園緑地科
〒007-0895　札幌市東区中沼西５条１丁目８番７号
TEL　011-791-5050　　FAX　011-791-5172
E-mail　iwase@sapporo-kouka.ac.jp

■ 専門：森林部門（森林環境）

1. 自己紹介

私は、1968 年（昭和 43 年）に東京都町田市でうまれ、高校までは千葉県で育ちました。当時は、まだ自然が多く、雑木林での体験が自分の自然観の原点になっている気がします。北里大学獣医畜産学部に進学し、土と環境を考えた緑化について学びました。修士課程では中国内蒙古自治区で半乾燥地での緑化などの研究を行いました。縁があり 1995 年（平成７年）に札幌の株式会社北日本ソイル研究所（現（株）イーエス総合研究所）へ入社し、施工管理における土質試験や草地造成地の土壌分析と土壌改良設計業務に従事しました。その後、会社グループ内の学校法人常松学園札幌工科専門学校へ移動となり、造園緑地、林業担当の教員となりました。

2. 技術士試験について

技術士については学生のころから名前は知っていました。さらに、入社当時の上司が技術士であり技術者としての姿を教わる機会に恵まれました。世の中の動き、その問題点及び解決に至る技術者としての考え方、倫理などを指導していただきましたが、当初は自らの仕事の方向性などが定まらずに受験に至りませんでした。現在、学校において業界等様々な関係者と連携し事業を行うことが求められ、より信頼をされ業務にあたる必要が生じていること、さらに、将来技術者を目指し、技術士補試験を受験する学生が増えていることなど技術者教育が求められていることから、自らも技術士試験を受験することを決意しました。

受験準備として最初に行ったことは、過去の自らの業務を振り返る作業でした。業務資料を整理しておいたことが、大いに役に立ちました。論文試験では問題解決が求められますが、業務で協力していただいている関係者と普段から分野の問題点を共有できていたことが論文作成にとても有効でした。ただ、普段パソコンに慣れてしまっているせいか、4,200 文字の論文を手書きするのに苦労しました。特に、簡単な漢字がすぐ出てこないなど自らのことながら愕然としました。改めて普段から手を動かし文章を作成することを意識して行いました。ここまで、筆記試験はほぼ独学でやってきましたが、口頭試験だけは自力ではどうしようもなく行き詰ってしまい、業務でお世話になっている技術士の方にアドバイスをいただき、試験に臨みました。口頭試験では、最初に予想していなかった受験部門と業務内容に関する質問があったことで動揺してしまい、残りの 19 分の記憶があいまいという状況で、不合格を覚悟し渋谷の街を後にしました。

今回の受験は、自らの仕事を振り返り、再認識する作業でした。その中で、上司や同僚、また仕事でかかわる多くの方々に支えられて仕事をすることが出来ていたことを改めて感じました。同時に、口頭試験では、仕事への甘さと不勉強を痛感させられました。

3. 今後について

技術士の合格には、普段の業務への取り組み方がとても大切だということがよく分りました。今回は幸いに合格をいただきましたが、初心を忘れず、今まで以上に研鑽を続け、技術士としていま日本の森林林業が抱えている問題の解決に少しでも貢献できるような仕事をしていきたいと思います。また、このように業務にかかわる姿を示すことで、技術者を目指す学生の力になれればと思っています。

最後になりましたが、ご指導いただきました理事長先生をはじめ、職場及び関係者の皆さま、そして家族にこの場を借りて心から感謝申し上げます。ありがとうございました。